

ことばのうみ

宮城県図書館だより

ISSN 1345-0379

M I Y A G I
P R E F E C T U R A L
L I B R A R Y

No. 15 2004.1

特集 「きらめく文化財の世界」.....[パート②]



「つる工芸体験会」

とき：平成15年10月17日、25日
会場：生涯学習室

生涯学習推進月間

平成15年10月1日～10月31日



「地球をもっと楽しもう」

とき：平成15年10月26日
会場：ホール養賢堂

読書亡羊

伊坂幸太郎

読書亡羊、という四字熟語が好きです。よく覚えていないのですが、「物事に熱中するあまり、肝心なことを忘れる」とか、そういう意味合いだったと思います。どこかの羊飼いが読書に夢中になって、羊を見失ったのでしよう。その情景を想像するだけで、楽しくなります。

広大な緑の土地に、白い羊たちが草を食んでいる。たぶん季節は、春か初夏で、羊飼いは見晴らしのいい場所に腰かけている。はじめのうちこそ彼も、羊を監視しているのだけれど、そのうちに持っている本のことが気になって、ページをめくりはじめる。そのとたん、物語に引き込まれ、時間はどんどん過ぎていく。しばらくしてはつと顔を上げると、羊が消えている。「あ、やばい」羊飼いが羊を見失うほど、面白い小説。そういう本に僕も、出会いたいと思っています。できるならば、いつか自分でも書ければいいな、そう願ってしまいます。

(いさか・こうたろう 作家)